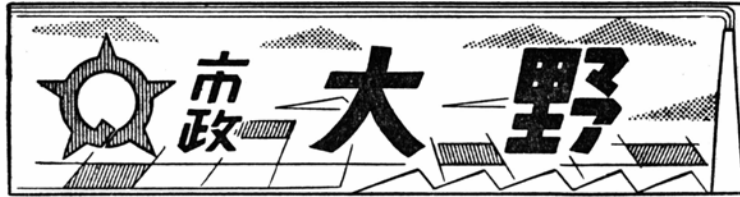


発行  
**福井県大野市役所**  
 (総務課広報係)  
 電話(代)6-3600  
 夜間 6-3601  
 印刷 松浦印刷所



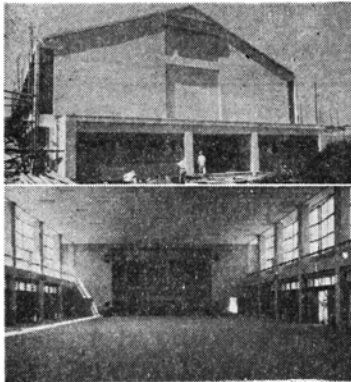
**8月の人口の動き**

出生	男 28	女 18	計 46
死亡	" 9	" 19	" 28
転入	" 192	" 151	" 289
転出	" 158	" 176	" 334
世帯数	9,391		
人口	45,021		
	男 21,693	女 23,988	

## 尚徳中学校の屋内体操場完成

尚徳中学校の屋内体操場の新築は、昨年11月に総工費2千560円で着工以来工事が急がれていましたが、このほど市内の小中学校で一番大きい鉄筋鉄骨建ての体操場として完成し、目下寄宿舎の建設が行われています。11月末には市内唯一を誇る統合中学校としてお目見えします。

同体操場は横20m、縦40m、高さ3



### 市の人事

(9月1日)

教育委員会へ出向

笹島 積(保険衛生課)

保険衛生課勤務を命ずる

花山長右エ門(農務課)

農務課勤務を命ずる

松田 茂男(税務課)

林務課勤務を命ずる

石塚 信正(建設課)

建設課勤務を命ずる

笹川 亮一(林務課)

福祉事務所勤務を命ずる

森 亮 祐(総務課)

(新採用)

主事補を命ずる

税務課勤務を命ずる

井部 寛之

電話交換手を命ずる

総務課勤務を命ずる

松田 幸枝

mで、前方正面にステージが設けられ地下は物置きとなつております。天井は音響防止装置が施され、照明には蛍光灯90ワット94個が取り付けられて夜間競技が十分できる市内では最も充実した施設です。

いま建設中の寄宿舎は、工費1千500万円で木造2階建延べ825m<sup>2</sup>で、16.5m<sup>2</sup>の部屋12室と食堂、浴場などがおもなものです。

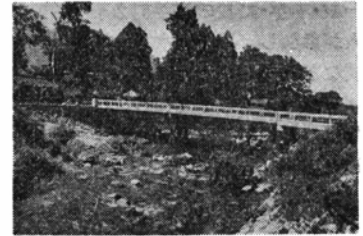
この学校の新設工事は、さる35年に総工費1億1千900万円で着工したもので、これまでに鉄筋2階建2棟と屋内体操場が完成し、11月末には、給食施設を除く全工事が完成することになっています。

(写真は完成した屋内体操場の外容と内部)

### 完成した馬橋

#### スマートな鉄筋製

市道森本、八町、柿ヶ島にかかる馬橋のかけ替え工事がこのほど完成しました。この橋は柿ヶ島部落に通ずる唯



一の橋で、これまでの木橋が老朽したので、さる6月に総工費215万円で長さ22.5m、幅3.6mの鉄筋コンクリート橋として着工したものです。

(写真は完成した馬橋)

### 住宅統計調査 実施について

5年に1回行なわれる住宅調査を10月1日現在で実施することになりました。

この調査は住宅の分布、所有、使用状況などが現在どのような状態になっているか、またどのように変わってきているかを明らかにして、住宅関係の諸施策の指針となる統計をつくることを目的としています。

近く調査員がお伺いしますからご協力をお願いします。

### 1人当たり3千534円

#### 37年度の国保医療費

国民健康保険の統計によりますと、昨年度の当市の被保険者数は2万8千905名で、加入率は62.9%、国保で支払った医療費は4千994万円。これは前年度に比べて485万円の増で1人当たり平均1千757円。これに対して保険税負担は1千004円となつております。全体的にみた場合1人平均差引き759円が国保制度の恩恵を受けたこととなります。

年間1人当たり受診回数は9.92回で前年より0.05回下回つていますが、医療費が上がっているのは、36年7月に歯科補てんの医療給付の制限がなくなつたのと、7月12月の2回の医療費の引き上げによるものと思われま

別では前年と大差がなく歯科、呼吸器系(かぜひき)消化器系(胃腸病)、循環器系(心臓関係)、精神・神経系疾患の順となつております。

前年度と変わった点は、入院以外の患者で市外の医療機関を利用される方が非常にふえて(6千190件)約2倍になつており支払額も全体の約3割を占めています。

以上が大体のあらましですが、これによりますと被保険者1人当たりの年間医療費は個人負担を合わせて平均3千594円となつております。市ではこれらの医療費をより少なくしようと、保健活動に力を注ぎ各地区、部落に推進委員を設けて保健衛生全般にわたる各自の自覚と保健意識の向上をはかることになつております。

# 相撲、剣道に優勝

## 第15回県体、当市を中心に展開

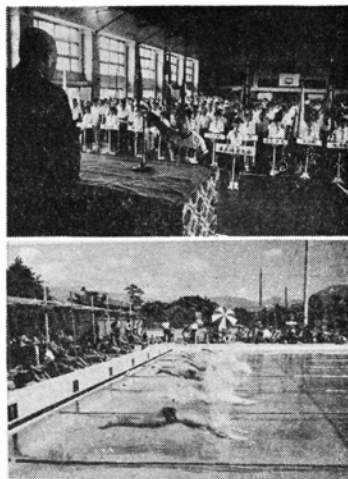
第15回県民体育大会は、さる24日から9日間、大野、勝山両市を中心に福井、三国の3市1町18会場で県下各郡市の一般・中学・高校の選手約2千人が参加し、陸上、水泳、相撲など25種目にわたって県スポーツ界の総力を結集し、はなばなしい競技が展開されました。



当市では、水泳、相撲、卓球、剣道ソフトボール、レスリングの6種目が行なわれました。水泳競技は有終中学校プール(25m短水路)で行なわれ、中学校男子100m背泳で1分19秒8他5つ、中学女子100m自由形で1分22秒7他5つ、高校男子200m平泳で2分57秒など13の優秀記録(未公認大会新記録)が出て観

衆を熱狂させました。

総合得点では福井が179.5点で1位、大野市は105.25点で5位となりましたが、種目別では、相撲、剣道がそれぞれ総合優勝の栄冠をかち得ました。有中の久司君、大高の埴山君、一般で岩淵君の相撲個人優勝や、下庄中学校の体操競技総合優勝なども当市の面目を



ほどこした記録です。

5年後に本県に招致予定の国体に備えて、この3日間を通じての熱戦で当市のスポーツ振興に試練を得たことは大きい収穫でした。

(写真は左優勝した相撲一般、右上開會式、右下水泳スタートの一瞬)

## 申し込み9月10日まで

### 「畜産経営拡充資金」

こんど新しく畜産経営拡充資金の貸し付け制度ができ、乳牛・肉牛の飼養規模を大きくしようとする農家に長期間低利で融資されます。

融資を望まれる方は9月10日までに各農協か農務課へ申し出てください。

#### 貸し付けについては

##### ①、対象者

農業を営む個人または法人に対してつぎの要領で貸しつけられます。

イ、酪農の場合 乳牛6~8頭を飼養し65%以上が自給飼料であること。

ロ、肉用牛の場合 飼養頭数8~12頭で75%以上が自給飼料であること。

②乳牛、肉用牛の購入費と、畜舎、堆肥舎、サイロ、農機具、牧さく、家畜用水施設その他の施設費の8割以内

##### ③貸し付け限度額

酪農 個人250万円 法人1千万円

肉用牛 〃200万円 〃800万円

ただし貸し付けは1年目に4割、2年・3年目は3割の3か年分割貸し付け

##### ④利率と返済方法

利率 年6分(ただし据え置き期間は5分5厘)

返済 3年据え置き12年均等償還

## 食中毒を防ぎましょう

昨年の食中毒は9万8千人もあり、そのうちの167人が死んでいます。これらの食中毒の約60%は家庭で起きています。食中毒から身を守るために次のことがらに注意しましょう。

#### ①台所はいつも清潔に

食器類はよく洗い、タナなども月に1~2回は清掃する。できれば換気装置をする。

#### ②食べ物はなるべく火を通す

なま物やなま水は避ける。井戸水は保健所で水質検査を受ける。

#### ③手洗いの励行

指先の傷口や爪のアカには意外なほどバイキンがいる。調理時や食前にはよく指先を洗う。

#### ④冷蔵庫は殺菌庫でない

冷蔵庫内は5°C以下に保ち、なまの物は包んで入れるようにする。余った食べ物は、もつたいたいといわずに、なるべく捨てるように心がける。

#### ⑤かんずめ、加工食品の過信も禁物

なま物は新しい物を、加工品も製造月日や品質を見て求める。

#### ⑥汚物の処理を完全に

ハエやゴキブリの発生を防ぐため野菜くずなどを放置せず、殺菌、殺虫剤をときどきまく。下水路の清掃も忘れずに。

次に毎日食膳に上がる食べ物の中で魚についての注意を聞いてみました。

〔魚市場の方の話〕 魚の中毒症状はその人の体質や魚のいた場所などにより一概にいえませんが、アジ、サバ、シイラなどいわゆる青い魚に、フグ、イカ、タコがとくに中毒にかかりやすく、またなまエビ、赤エビも11月ごろまでの生食は禁物。なま魚や料理は、なるべく食べる直前に調達し、入念に火を通して食べるようおすすめします

## ご試食をどうぞ

### 量より質の"特選米、"

近年米の消費も量より質がよるこばれるので、政府は、昨年12月から配給米に特選米制度をもうけて、皆さんのご要望に応じています。どこ

の米屋でも取り扱っていますからご試食をどうぞ。

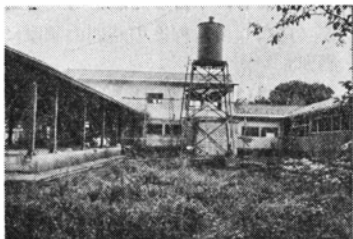
これは、玄米の1、2等を普通米より白くつき、粒がそろつてぬか切れも良いので、カマぶえがします。また、梅雨時や夏などにいたみが少なく、価格は10キロ当たり955円で、普通米の60円高です。

### 特別老人ホーム完成

このほど和光園（上篠座）の西側に65才以上で老衰、病弱、身体障害者などの、日常生活に常時、看護を必要とする老人を収容する特別養護老人ホームの建設が土肥了介氏等により進められています。

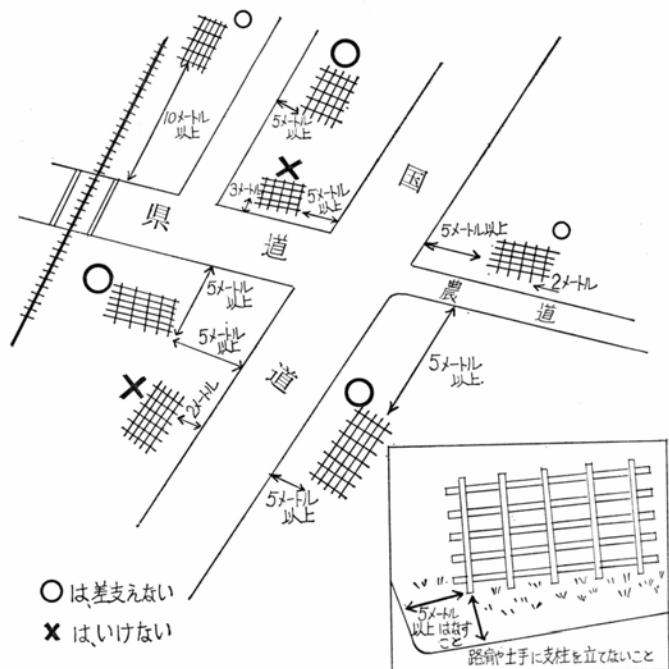
この施設は鉄筋ブロック平屋建、一部2階建の延べ1千26平方メートルで、病棟、管理棟、医務室、調理室などがあり、冷暖房設備もあるという完備されたもので、収容能力は70人となっております。

総工費は9千275万円で、郵政省のお年玉年賀ハガキから2千万円と、県補助、借入金、自己負担金、その他の助成金などあわせて1千275万円があてられるそうです。工事は9月いっぱい完成し10月1日に事業開始の予定です（写真は完成近い特別老人ホーム）



### 道路の見通しを安全に なくしよう道路わきのハサ

交通の激しい道路沿いにハサを立てる場合は、左右の見通しを妨げること



のないよう次の図のとおり道端から離してください。絶対に交通事故誘発の原因とならないよう十分注意してください。守らないと取り除きを命ぜられたり、場合によっては、処罰を受けます。

### 地元産業の労働力は地元で補充を!!

市の重要産業である繊維産業はいうまでもなく、その他の事業においても近年著しい施設設備の近代化、運営の合理化による労働条件や福利厚生施設の改善などで県外の大企業へ若い労働力が集中しています。

さて私達市民生活の向上のためには地元産業の発展が大きな要因ですが、それには労働力の確保ということが第一条件です。

**半数以上が県外へ**

今春の中学卒業者の就職状況によりまずと、女子就職者総数の三八・七％の一六八名が県外に出ています。

今春の大野職安管内事業所の女子中学卒業者の求人総数は一、六〇〇名、これに対し地元から二五〇名と県外から受け入れた二〇〇名、計四五〇名ほどが就職したとすれば大助かりなのが管内で就職したとすれば大助かりなのです。が人手不足の折、甚だ残念です。

職業選択の「自由」は職安法で定められており、安定所としましても強制的に就職のあつ旋をするようなことはできません。

昭和三九年の当所管内中卒者数は約二、七〇〇名であり、この年を最高に昭和四〇年からは年々減少して、昭和四五年には一、六〇〇名、そのうち就職希望者数は約五〇〇名（女子二五〇名）になるものと見込まれています。これが県外に流れるとすれば、地元産

業の労働力はどうなるのでしょうか。これは当市産業にとつて大きな問題だと思えます。

**地元産業に就職を**

ここで県外就職希望の皆さんに強く望みたいことは、地元労働力資源は是非とも地元産業に充足していただきたいということです。

市民の皆さん、大切なお子さんの一生を左右する職場を県内にするか、県外にするかは非常に定めがたいことでしょうが、子孫繁栄百年の大計はまず地元からということに思いをいたされまして、職場決定に深いご配慮をいただきたいと思えます。

なおこれまで述べてきました「労働力の確保」についての要望は主として「女子中卒者」を対象としたものであることを申しそえます。

(大野職業安定所)

### 豊かな郷土建設に 簡易保険の資金も一助

加入者の皆さんからの保険金（簡易生命保険）は政府資金として、地方自治体へ低利で貸し付けられています。当市でも、学校、道路、水道、災害復旧工事など、公共事業の建設のため現在約一億二千万円のお金を借り受けています。

こうした地方融資の財源確保のため郵便局では九月から大々的に簡易保険の新加入運動を行ないます。近日局員が皆さまの家庭や職場を訪問しますから一家こそつてご加入をお願いします

(大野郵便局)



◁どんな準備が必要か▷

①選手の強化をはからねばならない。  
全国から集まった若人を相手にして本県選手の競技成績が奮わないのでは大会が盛り上がりません。是が非でも堂々と競技のできるだけの実力をもつた選手をみんなで育てあげたいものです。このためには県民の総力をあげて精神的にも財政的にも援助しなければなりません。「みんなの力ですぐれた選手を育てよう」を合言葉に、一層スポーツ振興に励み、広い基盤の上に立つて、みんなの協力で国体選手を育てましょう。

②競技施設を整備しなければならない

福井国体は34種目が65会場で行なわれる予定です。このうち42会場は既設のものを整備して使いますが、残りの23会場は新設しなければなりません。施設には基準が定められていますのでこれに合致するように新設したり整備したりしなければならないわけです。

③宿泊、輸送、環境の美化

全国から集まる人々に福井県という土地がらや、人情についてもよい印象を与えることは、本県の将来のためにも非常に大切なことです。そのために宿泊施設を整えることや、選手の輸送を円滑にすること、公衆道徳を高め、環境を美しくしておくことなどが大切です。

福祉大会で感じたこと



大野市社会福祉大会がさる8月27日、大野市と大野市社会福祉協議会共催のもとに、社会福祉関係者一同が参加し、城東会館で開かれました。『明るい社会の礎に』というテーマのもとに終始、真剣に“青少年に対する諸問題”、“母子福祉の問題”、あるいは“精薄児、身体障害者に対する福祉の問題”などの研究発表があり、あらためて社会福祉の重要性を痛感させられ、有意義であつたと、一市民として喜んでいる次第です。聞くところによると、今後は毎年、この大会が開かれる予定だそうですが、是非ともそうあつてほしいと思います。

さて、大会を省みて、有意義な中にもいまま少しこうあつてほしかつたと思う愚見を列記してみたいと思います。

- ①意見発表者に十分な時間を与えること(ただしある程度の時間の制限は必要)
  - ②発表意見は取捨選択すること、大会にふさわしくない意見もあつたように思われます。
  - ③分科会をもつて、各項目ごとに質疑応答などデスカッションを行なつてほしかつた。せつかくの大会ですから午前中から始めれば、時間ぎれのために意見者の尻をつつくというようなこともなくすむと思います。
  - ④意見発表中にはなるべく坐を立たないこと、(参加者におねがい)
- 以上4点ですが、今後の大会の時に考慮していただければ幸いと存じます。なお最後に、この大会の諸準備に当たられた方々のご労苦に対し心からお礼を申しあげます。

(一参加者より)

レントゲン撮影

9月9日	9時~3時30分	大野保健所
16日	9時30分~正午	曙製材所前
"	1時~4時	下庄公民館
17日	9時~11時	小山 "
"	1時~2時	乾側 "
"	2時30分~4時	庄林分校
18日	9時~10時30分	下唯野
"	11時~12時30分	中休 中村為宅前
"	1時30分~4時	富田小学校
19日	9時30分~10時30分	木ノ本分校
"	11時~12時	五条方分校
"	1時~2時30分	上庄公民館
"	3時~4時	中掘 板橋宅前
23日	9時~11時	石どろう 二番角
"	11時~12時30分	大野貨物前
"	1時30分~4時	山王児童公園
26日	9時~10時30分	和光園
"	11時~12時	篠座神社
"	1時~4時	大野貨物前

百日セキ予防接種

9月16日	1時~1時30分	乾側公民館
"	2時~2時30分	小山 "
"	1時~2時	大野 "
17日	"	五箇 "
"	"	下庄 "
18日	"	大野 "
"	"	上庄 "
19日	"	大野 "
"	"	阪谷 "
20日	"	大野 "
"	"	富田 "

該当者は昭和36年5月1日~同38年4月30日までに生まれた乳幼児

あほなこっちゃ!  
「日米対抗水泳」  
おゝ哀泳日本!!  
—プールサイドより—  
アホナコッチャ!

とは何よりであつた。百聞は一見に如かずの大収穫を得たこと

市民待望の県体も思い出たこの夏も共に去つた。二十四日は、初日の大雨に出くわして花々しい開会の式典は流れてしまつた。各小学校児童の大編成の踊り、大高女生徒のマス・ゲーム、婦人会の踊りなど盛り沢山な前奏曲は月余の練習の甲斐もなく消えたことはまことに残念であつた。それにもかゝわらず大会宣言は当市有終中学講堂において力強く告げられ、各種競技の火ぶたは切られた。遠来の選手団、役員



は、遠来の選手団、役員

# 大野市財政公表

これは市の財政がどのように運営されているか、皆さんの税金がどのように使われたか、その内容を知っていたくために公表するものです。

人口	45,053人
世帯数	9,380
面積	343.56k㎡

## 昭和37年度の決算（普通会計）

歳入総額	7億7千187万3千円
歳出総額	7億6千969万3千円
差引	218万円 黒字

### 決算のあらまし

政府の経済高度成長施策によって生活水準の向上、経済の発展はめざましく、これに即応して環境衛生施設、文教施設、道路等産業関連施設の整備が必要とされております。

市としてもこれら施設の整備拡充に重点を置き積極的に推進を図っています。このため財政規模は年々増大し、37年度においては市以来の超大型予算となりました。財政規模の増大は行政水準の向上とつながるものでありますが、一方財源はこれに併行してふえるものではなく、財政運営はかなり困難となつてきております。

幸い37年度決算におきましては市税をはじめ事業に対する起債、特別交付税等の確保により当初計画が遂行せられるとともに、黒字決算をみる事ができましたことは、皆さんのご理解あ

る協力の賜ものであり、心からお礼申しあげます。なお決算の概要は次のとおりです。

### 1. 歳入について

市の財政構造は自主財源（市で調達した財源）2億2千357万円一方依存財源（国や県からの補助金及び起債）は5億4千890万円で全体の比率は自主財源33%依存財源67%となっております。依存財源は国や県からもらつてくる金ですから地方にとつてはよるこばしいことですが、自分の金でないから不確定であり、使途も限定されます。

とくに当市のごとく67%が依存財源ということは極めて苦しい財政運営であります。

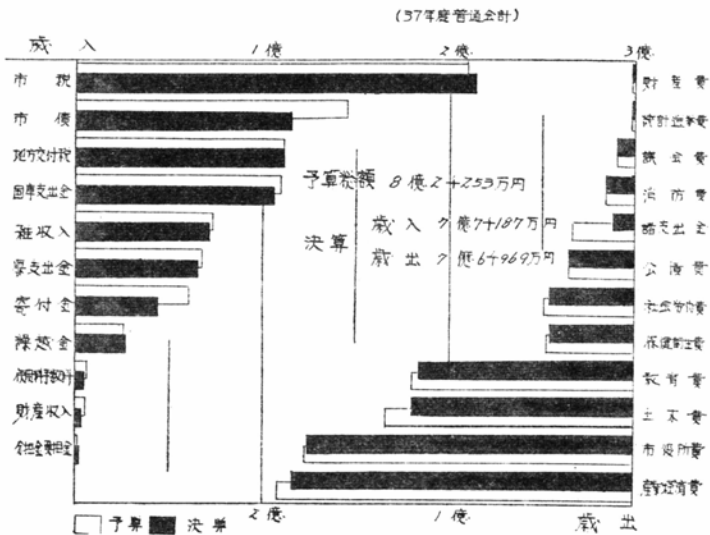
### 2. 歳出について

昭和37年度の重点施策事項は①災害復旧の早期完成②庁舎、し尿処理場、尚徳中学校等経統事業の完成③九頭竜水系の電源開発事業の促進④第2次建設計画の実現であり、この基本計画に基づいての実施状況は別表のとおりであります。

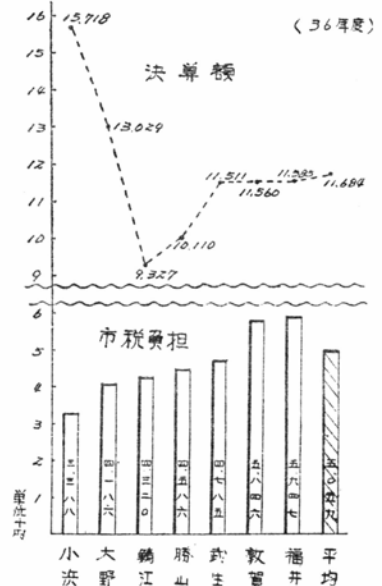
目的別にみた普通会計決算状況(単位千円)

科目	歳入	歳出
市税	219,808	議会費 10,596
地方交付税	112,258	市役所費 176,986
財産収入	9,021	消防費 15,889
分担金負担金	1,205	土木費 120,595
使用料手数料	5,540	教育費 116,940
国庫支出金	107,966	社会及労働費 46,012
県支出金	66,768	保健衛生費 47,089
寄附金	20,259	産業経費 184,825
繰入金	—	財産費 1,671
繰越金	27,725	統計調査費 281
雑収入	72,909	選挙費 1,855
市債	140,420	公債費 96,061
計	771,879	諸支出金 12,099
		予備費 —
		計 769,699

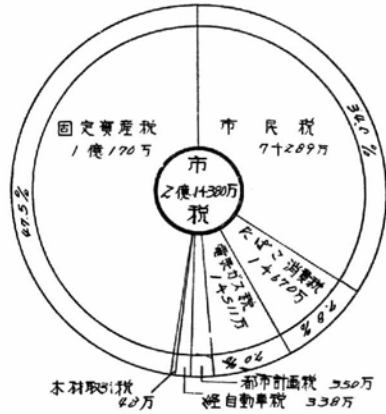
### 目的別にみた決算状況



### 7市の1人当たり決算と市税



37年度 市税の収入状況



市債1人当たり1万円

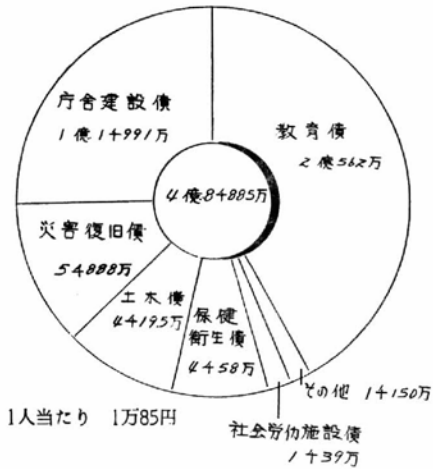
市のいろいろの大きな事業を実施するためには、どうしても自己財源だけでは間に合いません。37年度は庁舎、し尿処理、尚徳中学校舎等建設のため1億4千万円という大きい借入れをしております。現在の借入れ総額は

4億8千885万円です、市民1人当たりの額にすれば1万85円となっております。

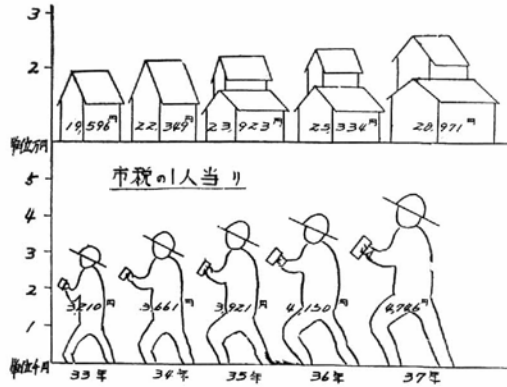
市債のふえることは好ましいことではありませんが、時代に即応した教育施設、道路、環境衛生施設等の緊急課題事業が控えている当市にとつては、やむを得ないことです。

市債の現在高

98.9.1現在



1世帯当たり市税



市税の1人当り

市税の自然増2千余万円

市の財政運営の中心は市税収入であり、市のいろいろの仕事に大きな役割を果たしております。特に37年度において税制度の一部改正を行ない、所得割の税率引き下げと扶養控除の引き上げによる減税を行なっているが、高景気による給与所得の伸び、豊作による農業所得、賃金収入の増等が消費ブームをかもし、市民税において千250万円、固定資産税において880万円、その

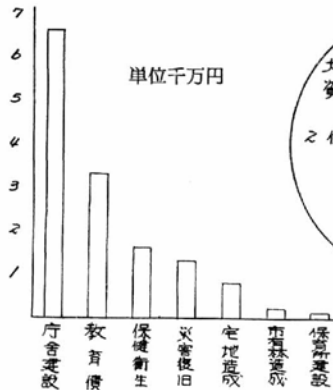
他あわせて2千30万円の増となっております。昭和37年度の決算状況は次のとおりです。

どのように使われたか

まず消費的の前費についてみますと、全体予算の90%で昨年度より4千585万円の増となっております。これは職員の給与改訂による増、物価高騰による物件費が高くなったものです。建設事業については、廳舎の庁舎8

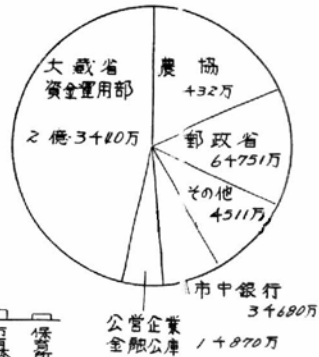
借入状況

総額 1億4千42万円



借入先別

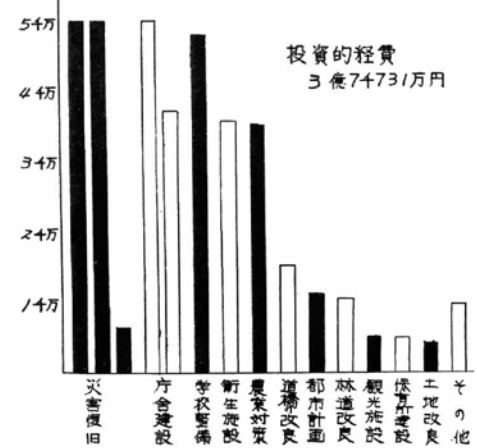
総額 4億8千885万円



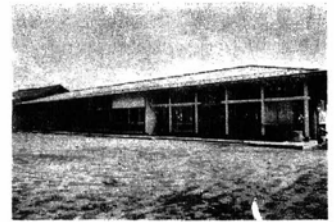
性質別決算



事業別経費



費427万円、牧野造成補助、農場整備費で614万円となつております。その他亀山公園等観光施設整備費519万円、春日保育所新設費538万円となつております。予算の執行については消費的経費は極力おさえ、投資的経費の増大を図りつつ健全財政の維持に努力したのであります。



春日保育所 37年度新設

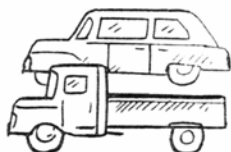
(特別会計)

<p><b>国民健康保険事業</b></p> <p>歳入 65,518 (単位千円) 歳出 58,525</p> <p>被保険者数 28,905 受診率 992.55 1人当たり診療費 9,594円</p>	<p><b>簡易水道事業</b></p> <p>歳入 2,545 歳出 2,505</p> <p>給水人口 1万1千493人 水道普及率 25%</p>	<p><b>宅地造成事業</b></p> <p>歳入 22,793 歳出 30,144</p> <p>計画面積 90ha 造成面積 25ha</p>
---	--	--

市有財産 8億1千162万 (38.5.90現在)

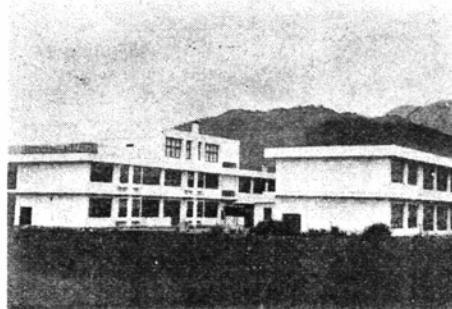
有価証券 486万

土地1億1千167万(947ha)



車両690万(四輪8台三輪4台)

建物6億7千980万(80,760㎡)



尚徳中学校 (97年度完成)

む す び

以上97年度決算および昭和38年度予算の概況を報告しましたが、市財政も日本経済上昇のテンホに即して拡大を余儀なくされ、とくに昭和37年度においては庁舎、し尿処理場、災害復旧等大きな事業実施のため36年度に比べて1億7千400万円(90%)と著しい増加をみたのでありますが、皆さんのご協力により市税徴収率も97%であり、補助金、起債等特定財源の確保によりほぼ計画どおりの事業実施ができるとともに、財政的にもどうか黒字決算をみる事ができました。

しかしながら市の財政も自主財源は93%であり、67%は他に依存しなければならぬ状況でありますので財政的には極めて苦しいわけです。

昭和38年度予算においてもこのような事情を克服して積極的に明るく住みよい理想都市の建設に努力したいと思います。皆さんにおかれては市政に大きい関心をもつていただき、なお一層のご協力をお願いいたします。

昭和38年度当初予算

ことしの予算編成方針は1電源開発事業の促進と工場誘致の推進2中小企業、農業の経営近代化の促進3社会教育の強化育成4尚徳中学校等継続事業の実施5税負担の軽減を重点施策として、消費的経費を抑制してこれら事業の完成を基本としております。

歳出の主な概要

消防施設の整備として小型ポンプ2台、防火水槽2カ所、消火栓8カ所を新設する。土木関係は道路や橋の新設改良、道路補修用グレーダー450万円です。

教育費は尚徳中学校9千645万円、富

田公民館の新設費950万円であります。保健衛生費は簡易水道工事に対する補助金、ごみ収集車の購入を計画しております。

産業経済費のうち商工費については中小企業設備近代促進のための経費6千968万円、亀山公園をはじめ観光施設整備費412万7千円であります。

農業対策費は農業の経営改善費2千150万円、空中防除費939万円、土地改良、園芸や畜産の振興等合わせて653万9千円となっております。林業費は林道災害復旧費2千922万円、林道の開設補修費215万円、市有林造成費456万円等であります。

38年度予算の状況

単位千円

歳	入			歳	出		
	37年	38年	比較増減		37年	38年	比較増減
市 税	202,868	229,897	26,669	議 会 費	10,611	13,988	2,777
地方交付税	100,000	120,000	20,000	市 役 所 費	165,840	98,638	△67,202
財産収入	4,907	2,607	△2,300	消 防 費	15,538	19,019	3,481
分担金負担金	551	961	410	土 木 費	87,491	59,774	△27,717
使用料手数料	5,459	6,666	1,219	教 育 費	81,670	115,927	39,657
国庫支出金	82,147	58,650	△23,617	社 会 労 働 費	49,992	39,611	△9,781
県 支 出 金	26,959	58,007	31,054	保 健 衛 生 費	46,620	16,319	△30,311
附 金	98,554	55,006	16,452	産 業 経 済 費	123,975	172,584	48,609
繰 越 金	20,000	10	△19,990	商 工 費	52,520	78,716	26,196
雑 収 入	50,561	70,782	20,221	農 務 費	46,086	48,999	2,913
市 債	122,700	17,000	△105,700	農 場 費	8,724	7,587	△1,137
計	654,699	619,526	△35,167	林 務 費	16,645	37,882	21,237
				財 産 費	1,062	1,192	130
				統 計 調 査 費	940	404	64
				選 挙 費	1,584	836	△748
				公 債 費	96,207	42,955	6,748
				諸 支 出 金	33,953	38,479	5,176
				予 備 費	1,000	1,000	
				計	654,699	619,526	△35,167

アホナコッチャノ  
フロ代値上げ  
いつまで行水をするんだろう  
コオロギ  
あほなこっちゃん